



## 子育てで変わってきていること



国保成東病院  
小児科  
ひみ 水見 京子 医師

子どもを育てていく上で、以前と変わってきていることが多々あります。今回はその中から4点についてご紹介します。

### 第一は、予防接種に

ついてです。子どもが生まれて最初に接種するのがBCGです。以前は4歳までにツベルクリン反応(ツ反)を行い、陰性を確認してからBCGを接種していましたが、平成17年4月から生後6か月に達するまでにツ反検査なしにBCGを接種することになりました。

また平成15年4月から、小学1年生時と中学1年生時に行われていたツ反とBCG接種がなくなりしました。BCG接種後4週間過ぎたら三種混合(三混)を開始します。三混は3〜8週間隔で

3回接種し、その後標準的には12〜18か月後に追加接種をします。平成18年12月から、医学的理由なく8週を過ぎて接種する場合は、松尾IT保健福祉センターで任意接種の手続きをする必要があります。

さらに、平成18年4月から麻疹風疹混合ワクチン(MRWakチン)が使われるようになります。同年6月から1歳と小学校就学前1年間の2回接種になりました。1歳のお誕生日を迎えたら、なるべく早くに1回目を、また年長さんの1年間のうちに必ずMRWakチンを受けましょう。平成20年4月から5年間は、中学1年生と高校3年生にMRWakチンの追加接種を行っていますので、まだ接種していない方は平成21年3月まで

に接種してください。

### 第二は、日焼けにつ

いてです。以前は母子健康手帳に日光浴の項目があり、日焼けしている子どもは元気な証拠と思われるようになりました。このごろは天気予報に紫外線予報が加わり、紫外線・日焼けは注意すべきものとの認識が広まってきました。人は一生のうち浴びる紫外線の半分を18歳までに浴びると言われています。つばの広い帽子・皮膚にあつた日焼け止めクリーム・長袖シャツ・日陰の利用などにより出来るだけ皮膚を守ってあげてください。

### 第三は、皮膚のスキン

ケアについてです。通常の湿疹でもアトピー性皮膚炎でも、皮膚を清潔に保ち乾燥を防ぐスキンケアが大切です。清潔を保つためには、刺激の少ない石鹸やシャンプーで優しく洗い、よく流しましょう。乾燥を防ぐためには、入浴後まだ皮膚の角層に水分が残っ

ているうちに保湿薬を丁寧に塗って、水分を閉じ込めるようにしましょう。保湿薬には数種類ありますので、子どもに合ったものを探してあげてください。上手に保湿すると冬の乾燥した時期の皮膚の状態が良くなります。

### 最後は、離乳につ

いてです。以前は離乳を始める前に準備として果汁の投与やスプーンの練習が勧められていました。このごろは果汁のために母乳やミルクを飲む量が減ってしまうことがあるため、離乳前に果汁を飲ませる必要はなく、スプーンも5〜7か月になると自然に受け入れられるようになります。離乳を始めてから慣らしていけば良いとされています。離乳の開始は5〜6か月ごろ、離乳の完了は12〜18か月ごろと言われていますが、個人差があります。また母乳やミルクは一人一人の子どもの離乳の進具合に応じて飲ませてあげるため、離乳の完了時に母乳やミルクを飲んでいてもかまいません。

## 第12回クリスマスコンサート

組合立国保成東病院で、12月21日にクリスマスコンサートが行われました。12回目を迎えたこのイベントは、院内の入院患者さんにクリスマスと開催しています。

今回は、バラエティ番組で活躍中の「島田夫妻」と、ピアノの篠原栄子さんを招いてのコンサート&懐メロ歌謡コンサートが行われ、懐かしいメロディーに患者さんたちも一緒に口ずさんだり、篠原先生(院内外科診療部長)の特別出演に大喝采を送ったり、楽しいひとときを過ごしました。

